

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

兵庫県たつの市 C・Jさん

前略この度は「橋本給付金」をいただき、有難うございました。図書券もいつも大事に使わせて頂いています。主人が亡くなった当時五歳と三歳だった息子達も、この春からは小学校三年生と一年生になります。二人共父親の死をしっかりと受け止め、元気に明るく成長しています。二人の側には、今も大好きな父がいる様です。時々、父宛に手紙を書いたりしています。事故からもうすぐ丸三年。現在も裁判中です。私はストレスのために10kgも太ってしまいました。でも、周りの人達に助けられながら、目標を持って過ごしています。特に、子供達の存在は大きく、この子達のために、一日でも長く生きていたい、心から思えるようになりました。こうして前向きに生きていける事を書き留める様になれたという事を、幸せに思える様になりました。敬具

岡山県岡山市 M・Fさん

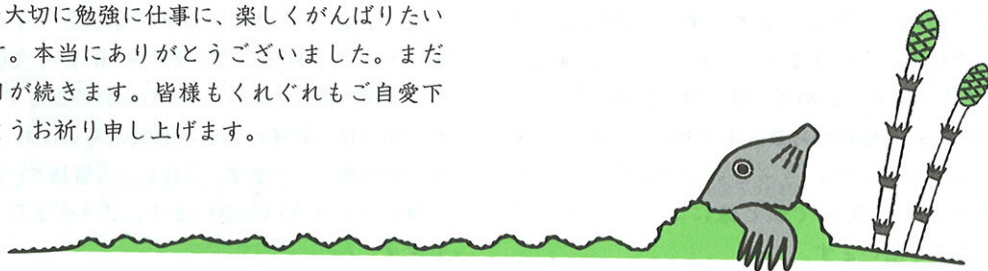
この度は「橋本むつ基金」からの入学祝い金、並びに図書カードをいただき、ありがとうございます。早いもので、今年主人の17回忌を迎え、当時お腹にいた息子も高校に進学です。いつの間にかたくましくなって、良き相談相手になってくれています。節目ごとに、こうして祝って下さる方々がいてくれること、とても力強く、感謝致しております。いつの日か、少しでもお返し出来る人になればと息子ともよく話しています。先のことはわかりませんが、一日一日を大切に勉強に仕事に、楽しくがんばりたいと思います。本当にありがとうございました。まだまだ寒い日が続きます。皆様もくれぐれもご自愛下さいますようお祈り申し上げます。

大阪府豊中市 M・Mさん

本当に毎回いろいろなご支援に感謝の念が尽きません。この度も子供達の中学・高校入学への給付金、本当に助かります。我が家は母子家庭にもかかわらず、子供達の向学心やスポーツへの意力を諦めさせる訳もいかず、とりあえず中学受験にチャレンジさせてみましたが、今回下の子も本人の希望であったスポーツの強い学校へ合格することが決まりました。喜びも束の間、親の私はあらゆる貯金をかき集め、今ちょうど入学準備金に大変な状況です。この様なタイミングに今回の給付金も本当に有難いものになりました。常日頃いろいろな方のお力で、今の我々家族の生活があると子供達にも言っていますし、子供達も折に触れ、イベント等の参加で感謝しているようです。本当にこの度はありがとうございました。

福島県郡山市 Y・Kさん

武田幸三さんのトークを読んで頑張る勇気を頂きました。現在介護の仕事をしていますが、お年寄りの方々とのやり取りよりも、同じ現場の仕事に立つ人とのやり取りがうまくいかず、難しいものだなあ、と悪戦苦闘しています。どんな事でも一番になるということは、並大抵のことではないのですね。でもいろいろなことを乗り越えて感謝できるようになった事ってすごいですね。ピンチや逆境こそ強くなれるチャンスと思い、頑張ろうと思います。



北海道千歳市

N・Cさん

お祝いの図書カード、給付金をありがとうございました。事故で夫が亡くなってから、17年が経ちました。2歳だった子供も19歳に。当時のことは何も覚えていない様です。夫はちょっと寂しいでしょうね。先の不安と心配でどうなる事かと思いましたが、沢山の方に支えて頂き、今日まで来ることが出来ました。育成基金があることも、とても心強く感じていました。子供を育てていると大変な時が多々あり、そんな時に相談する場所があるととても安心です。本当にありがとうございました。(育成基金で子供達みんなが幸せになりますように)

滋賀県東近江市

M・Tさん

主人が亡くなって3年余りが過ぎました。始めの一年はまだ1歳だった娘の世話、2人の生活に慣れる事、裁判などで、交通遺児の為の基金があることすら知らずにいました。一年経って初めて遺族会に参加する機会を得て、同じ立場の方に接した時の何とも言えない気持ちは今もはっきりと憶えています。その後、行事や映画券など本当にお世話になり、私にとっての大きな心の支えとなっています。まだまだ娘が成人するまで、長いなあと感じていますが、基金の先輩方の後を一日一日前を向いて歩いていきたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

茨城県潮来市

T・Iさん

お蔭様で長女が、成人式を迎える事が出来ました。娘が13歳の時に主人を亡くしたため基金には加入出来なくて残念でしたが、2人の弟と一緒に友の会など参加させていただきました。私が成人式の時は、この子がおなかにいたため式には参加しませんでした。今回娘の成人式を始めから最後まで見学し、感激の涙がとまりませんでした。きっと式の時、亡くなった主人も天国から微笑んで私と娘にエールを送っていた事と思います

三重県亀山市

A・Oさん

今から8年前、小1と中1の2人の子を残して両親が事故死、老人夫妻は年齢を8掛に数えて、孫を育ててきました。皆様にささえられ励まされて日々過ごしてきましたが、特に(自動車事故対策機構を通じて)二岡ボックスをいただき、家族で東京へ行った思い出は終生の語りとなりました。子供もぐちを云わず頑張っています。育成基金には大変感謝しております。三重支社の皆様にはご指導をいただきお世話になりました。心より御礼申し上げます。



和歌山県伊都郡

N・Yさん

早いもので、この3月に主人の7回忌を迎えます。5歳だった長男も、今年、小学校を卒業し、中学一年生になります。たくさんの方々に支えていただいて、ここまでやってこれました。最初の頃は、「交通遺児」という言葉に抵抗があり、なかなか踏み出せずにいましたが、今では、皆様の温かいお気持ちにふれ、励まされ、笑顔で頑張っています。これからも皆様と一緒に前向きに進んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。